



森と海の自然科

三井寺散策と大津歴史博物館 ご案内

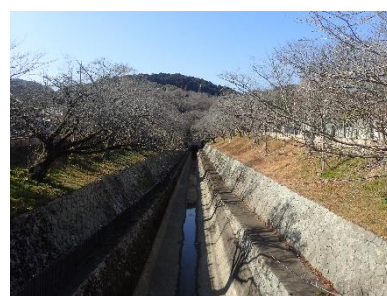
Bグループ 池田 孝雄

1:日 時 2026年3月5日(木)

2:集 合 JR大津駅 北口 10:00

三井寺までトイレはありませんので、駅構内のトイレをお願いします。

3:行 程 10:00 大津駅・・・犬塚の樺・・・大津絵のお店・・・疏水



11:00 三井寺散策

仁王門・・・釈迦堂・・・光浄院客殿・・・金堂・・・三井の晩鐘・・・閼伽井屋
弁慶の引摺り鐘・・・三重塔・・・西国14番札所観音堂

12:30 観音堂前で昼食

(喫茶店がありますが
食事メニューはありませんので弁当持参
をお願いします。)

【ベンチ】



13:30 三井寺・・・大津歴史博物館

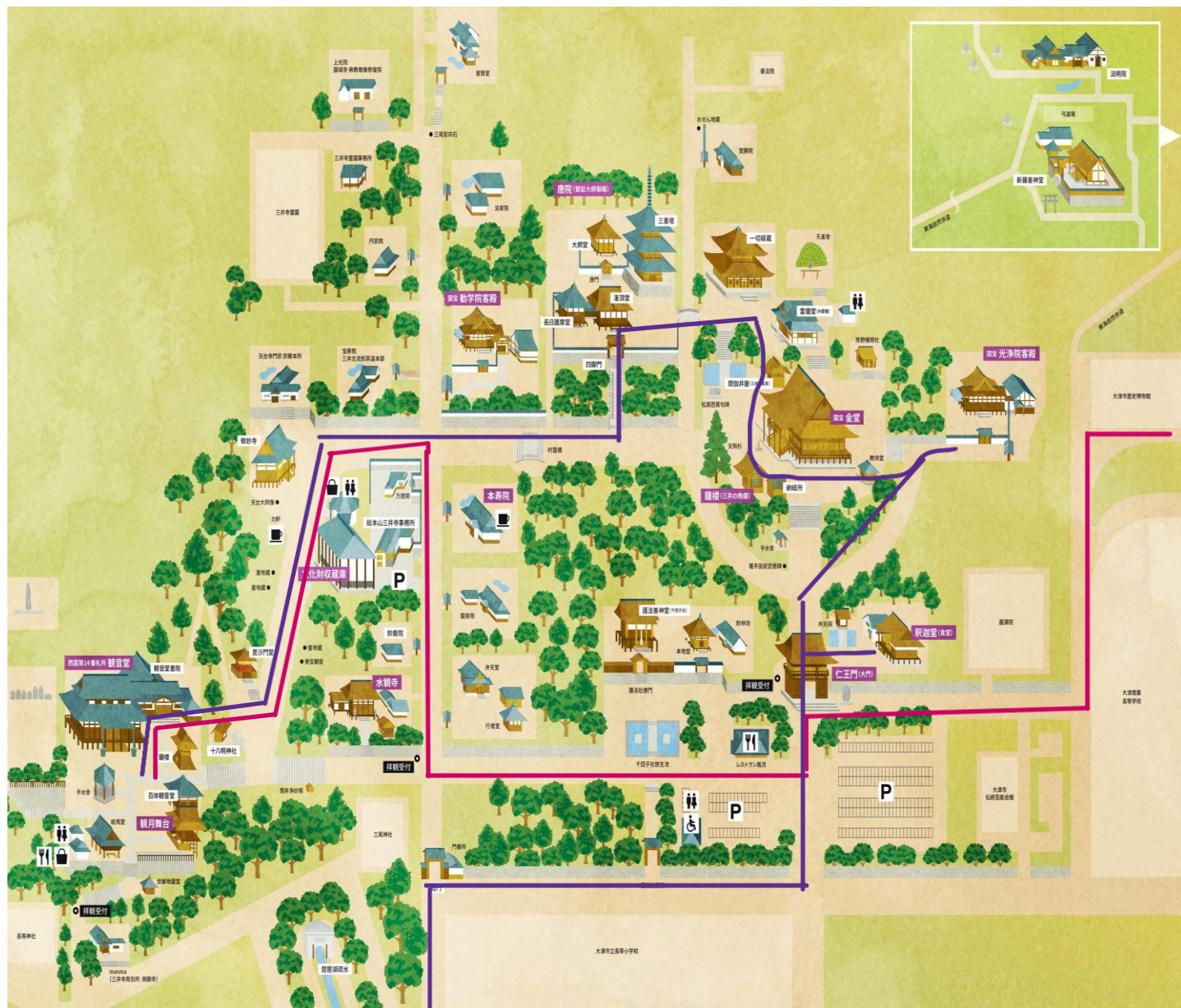
13:50～14:30 大津歴史博物館見学

14:30 博物館前にて解散

JR大津京駅までは徒歩約20分

京阪電車市役所前駅までは徒歩約10分





紫色のラインが、疎水から観音堂まで
赤色のラインが、観音堂から大津歴史博物館まで

天台寺門宗の総本山である三井寺(みいでら)は、正式名称を長等山園城寺(ながらさんおんじょうじ)といいます。三井寺と呼ばれるようになったのは、天智・天武・持統天皇の誕生の際に御産湯に用いられた霊泉があり「御井の寺」と呼ばれていたものを後に、智証大師円珍が当時の法義に用いたことに由来します。「関伽井屋」から湧き出ている清水が御井そのものとされています。

又、智証大師円珍和尚が、園城寺を天台別院として中興されてからは、東大寺・興福寺・延暦寺と共に【本朝四箇大寺】の一つに数えられ、南都北嶺の一翼を担ってきました。

